



一中だより

浜田市立第一中学校学校便り 第5号
令和5年9月20日(水)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



浜田市立第一中学校HPはこちら
浜田市立第一中学校HPはこちら

表現する力を発揮する2学期スタート

校長 川田 英樹

今年の夏休みはうだるような暑さが続きました。その中で、どの部活動も汗を流しながら一生懸命練習に取り組む姿、また、体育祭の準備をする3年生の姿が印象的でした。県総体・県吹奏楽コンクール・中国大会、全国大会に出場したみなさんの健闘を称えたいと思います。

2学期は、「表現する力」を高めることを大きな目標に掲げています。体育祭や合唱コンクールの行事で集団の力を発揮し、自分の思いをしっかりと表現してほしいと思います。そのために始業式の中で学校行事で学んでほしいことを以下のように話をしました。

学校全体で取り組む行事は、その準備にとっても労力や時間がかかりますが、どうしても「完成形の本番」だけが目標になってしまいます。忙しさのあまり、「何のためにやっているのか」「何を学んでいるのか」など忘れがちになります。

各行事に設定されている意義・目的をみなさん一人一人が、最後まで忘れずに取り組まなければ、たとえ本番が少しぐらい立派なものになっても意味がありません。

学校行事はマニュアルに基づいた「完成形の本番」だけを目指すことが目的ではありません。それまでに頑張ったプロセスがみなさんにとって最も学ぶべきことです。仲間と協力したこと、逆に対立したこと、あきらめかけたけど粘ったこと、困ったり悩んだり、そして感動したり、それら様々なことがみなさんにとって、価値あることです。学校行事を通して、それぞれ個性をもった仲間と協力し、「予想と違うこと」や「自分とは違うこと」にも、しっかり立ち向かえる力を養ってほしいと思います。

9月9日に体育祭を実施し、たくさんの皆様にご来場いただきありがとうございました。今年の体育祭で特に素晴らしかったことが3つあります。

①過程を大切にした取組の様子

準備期間には、日程変更や予行練習の場所変更などもありましたが、柔軟に対応する姿が見られました。本番だけでなく、準備の過程でも常にベストを尽くしました。

②主体的に動いていた片付けの様子

保護者や職員がテント等の片付けをしているとき、3年生が率先して、まだ終わっていないところの片付けに主体的に加わってくれました。それを見ていた1・2年生も一緒に手伝う姿が見られました。

③想いを込めた豊かなメッセージ

開会式の生徒会長挨拶では、スローガン「開花」に込めた願いを全校生徒に語ってくれました。また選手宣誓では、体育祭ができること、仲間とともに応援できること、支えてくれる家族への感謝の気持ちなどを伝えてくれました。また閉会式の生徒副会長挨拶では、生徒会企画で歌った「空に笑えば」の歌詞を引用し、仲間とともにどんな未来でも乗り越えていこうというメッセージを伝えてくれました。表現力豊かに伝えてくれるそれぞれの想いに、心を動かされました。

生徒会長の言葉に「花は根がとても大切」とありましたが、まさに「根となる練習、準備、見えない裏の仕事を全力で取り組み」、満開の花を咲かせてくれた体育祭でした。



43年目の校舎、リニューアルで快適さ増す！

夏休み期間に、校舎の外壁工事とトイレの洋式化工事を行いました。作業員の皆さんには、2学期の学校生活に間に合わせようと、猛暑の中で熱心に作業にあたっていただきました。そのお陰で、とてもきれいで快適な環境で2学期をスタートすることができました。本当にありがとうございました。保護者や地域の皆さん、学校公開日にはぜひご来校いただき、きれいに整備された学校設備もご覧ください。(教頭 小松原)



校内の和式トイレの約8割が温水洗浄便座になりました。

～体育祭を終えて～



赤組 色長 田中 楓介

私たち3年生は夏休みから準備をしてきて、不安になることや物事がうまく進まなくなることも多くありましたが、どんな時も楽しむことを大切に全力で駆け抜けました。体育祭練習が始まってからは、1・2年生がかけてくれる言葉や全力で取り組んでくれる姿にとても助けられました。体育祭は3年生が中心となって行う行事ですが、1・2年生が協力してくれたり、先生方がアドバイスをくださったおかげで、私たちが目指す「最高の体育祭」を全員で作りができたと思っています。

これまで3年生で協力し、意見を出し合い、ぶつかり、頑張ってきた過程を忘れず、これからの行事なども全力でやり切りたいです。



青組 色長 藤本 敬資

僕は何かに熱くなって取り組んだり、同じ目標に向かって努力したりするというのが嫌いでした。青組の色長になったときも、周りのリーダーの熱くなる姿に当然のように戸惑いました。しかし、周りのリーダーの情熱が青組全体に伝わり、気づいた時には僕も一生懸命準備をしていました。その一体感が総合優勝という結果につながったと思います。今は、青組全員に感謝したいです。体育祭の準備を通しての夏はとても楽しかったです。情熱を注いだ分、終わってしまったのは寂しいですが、この体育祭は忘れられない思い出になりました。この青組のメンバーで頑張ってきたことを優勝という形で残すことができ、とても嬉しかったです。ありがとうございました。



黄組 色長 竹田 悠生

私たち黄組は、「黄勝革命」というスローガンのもと、頑張ってきました。最終的には、目標としていた総合優勝には届かず、2位という結果でしたが、3年生にとってはとても楽しい体育祭になりました。1・2年生も本番はとても楽しそうに笑いながら全力でプレーしたり、応援したりしていたので、とても嬉しかったです。しかし、準備や練習の段階で、ずっと安定して進んでいたわけではありませんでした。ときには、組の中でバチバチになったこともありました。しかし、振り返ればそれも思い出の一つです。体育祭を進めていく中で、焦ることはありました。けれど、その焦っている状況下でも、どれだけ落ち着いて体育祭の準備を進められるかが、勝敗を決めることになると思いました。



緑組 色長 山下 柊人

今年の体育祭は、4年ぶりに制限のない体育祭になりました。周りでサポートをしてくださった方々のおかげで、準備から練習、本番まで楽しみながら取り組むことができました。

僕は体育祭前にコロナにかかってしまい、下級生との交流や全体練習に参加する機会が少なくなっていました。そんな中、周りの仲間たちが準備を進め、体育祭を無事迎えることができました。そして、当日は今までで一番のパフォーマンスや競技をすることができ、僕が経験した3年間の体育祭の中で一番楽しいものになりました。緑組のスローガンは“Only up”！これからの行事もこのスローガンのように下を向かず、上だけを向いて活動していきたいです。



県総体11年ぶり3度目の男子総合優勝

7月に県内各地で開催された島根県中学校総合体育大会では、本校の生徒の活躍がめざましく、多くの競技で8位以上の入賞がありました。その結果、学校別総合順位では、男子総合が11年ぶり3度目の総合優勝、男女総合でも第3位となりました。

また、水泳部、体操競技部は中国大会へ、陸上競技部、男子ソフトテニス部は中国大会、全国大会へ出場しました。大舞台でも一中健児の底力を臆することなく発揮し、堂々としたプレーを見せてくれました。(教頭 小松原)



全国大会愛媛大会会場にて
男子ソフトテニス部

県総体の結果はこちらから



中国大会・全国大会の結果はこちらから

